

# Storage Manager 2020 R1 リリース ノート

このドキュメントでは、Storage Manager 2020 R1 の変更点について説明します。

現在のバージョン：20.1.1

リリースの種類：メジャー (MA)

トピック：

- [変更履歴](#)
- [製品説明](#)
- [新機能](#)
- [機能の変更点](#)
- [解決済みの問題](#)
- [既知の問題](#)
- [制限](#)
- [環境要件とシステム要件](#)
- [インストールおよびアップグレードの考慮事項](#)
- [問い合わせ先](#)

## 変更履歴

表 1. 文書の変更履歴

リビジョン	日付	説明
A	2020 年 12 月	Storage Manager 2020 R1 のイニシャル リリース
B	2021 年 1 月	既知の問題の修正と記載内容の訂正を追加
C	2021 年 5 月	DSM-47431 および DSM-47433 を「既知の問題」に追加
D	2021 年 9 月	DSM-42715 を「解決済みの問題」から「既知の問題」に移動
E	2022 年 8 月	VMware Site Recovery Manager (SRM)のサポート対象バージョンを更新

## 製品説明

Dell EMC のもう 1 つのメジャー ソフトウェア リリースに Storage Manager 2020 R1 があり、複数の機能と機能拡張があります。

Storage Manager の本リリースでは、次の Storage Center モデルがサポートされています。

- SCv2000 シリーズ
- SCv3000 シリーズ
- SC4020
- SC5020
- SC5020F
- SC7020
- SC7020F
- SC8000
- SC9000

# 新機能

このリリースには次の機能が追加されています。

表 2. Storage Manager 2020 R1 の新機能

機能	機能説明
データ モビリティ	Unisphere Central で、次のデータ モビリティ機能を管理する機能が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"><li>レプリケーション</li><li>Live Volume</li><li>Live Migrate</li><li>ディザスター リカバリー</li><li>レプリケーションの帯域幅制御</li><li>ワン タイム コピー</li><li>リモート Storage Center</li><li>リモート Data Collector</li><li>レプリケーションのしきい値</li><li>ボリューム アドバイザーの推奨事項</li></ul>
レポート	次の履歴レポートを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>自動レポートに [ Live Volume ] レポートを追加しました。</li><li>[ ボリューム プロファイル ] レポート タイプを自動表レポートに追加しました。</li><li>[ プレッシャー レポート ] レポートタイプを自動表レポートに追加しました。</li></ul>
サーバ	Unisphere Central で Storage Center サーバーと登録済みサーバーを管理する機能を追加しました。

Dell Storage Replication Adapter ( SRA ) Photon ベースの SRM に Dell Storage Replication Adapter ( SRA ) 20.1.1.13 を追加しました。

新機能に関するユーザー向けドキュメントについては、<https://www.dell.com/support> の製品サポート ページを参照してください。

# 機能の変更点

このリリースでは、次の機能が変更されました。

表 3. Storage Manager 2020 R1 で変更された機能

機能	機能の説明
アラートしきい値の定義	アラートしきい値の定義を拡張して、ディスク クラス レベルを含めました。
自動化された日次レポート	自動化された日次レポートにスナップショットおよび重複排除サイズの情報を追加しました。
分散スペアリング	分散スペアリング オプティマイザーの進行状況を表示する機能を追加しました。
ヘルス チェック	オンデマンドでアップグレードのヘルス チェックを実行する機能を追加しました。
容量レポート	Storage Manager Client、Unisphere、Unisphere Central での容量レポートを改善しました。
Storage Center サポート	Storage Center 7.1 のサポートを削除し、Storage Center 7.5 のサポートを追加しました。
Storage Manager Data Collector	Storage Manager Data Collector バックエンド プロセスのパフォーマンスを向上しました。
Storage Manager インフラストラクチャのアップデート	<ul style="list-style-type: none"><li>Storage Manager Data Collector に、トランスポート レイヤー セキュリティ (TLS) バージョン 1.3 のサポートを追加しました。</li><li>Storage Manager を Java SE 開発キット ( JDK ) 11 に移行しました。</li></ul>
仮想ポートとフォールト ドメイン	仮想フォールト ドメイン内のすべてのポートを削除し、Unisphere および Unisphere Central でフォールト ドメインを削除する機能を追加しました。 <b>① メモ:</b> 仮想フォールト ドメインのすべてのポートおよびフォールト ドメインは、SCv2000 シリーズおよび SCv3000 シリーズのストレージ システムからは削除できません。

表 3. Storage Manager 2020 R1 で変更された機能（続き）

機能	機能の説明
VMware サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>VMware Site Recovery Manager ( SRM ) 8.3 のサポートを追加しました。</li> <li>VMware vCenter Photon ベース SRM 8.2、8.3、8.4、8.5 のサポートを追加しました。</li> <li>VMware SRM 6.0、6.1、6.5 のサポートを削除しました。</li> <li>VMware vSphere 7.0 のサポートを追加しました。</li> <li>VMware vSphere 6.0 のサポートを削除しました。</li> </ul>

## 解決済みの問題

このリリースでは、次の重大度の高い問題が解決されています。

表 4. Storage Manager 2020 R1 で修正された問題

問題	機能エリア	説明
DSM-46784	アラートとレポート作成	Active Directory ユーザーのパスワードは、Storage Manager Data Collector のディレクトリー サービスのデバッグ ログに表示されることがあります。
DSM-46625	レプリケーションと Live Volume	Storage Center を Storage Manager Data Collector に追加するために使用されたローカル ユーザーが削除された場合、レプリケーションを実行しようとしたときに Unisphere Central がリモートの Storage Center がダウンしていると誤って報告することがあります。
DSM-45927	Storage Manager Data Collector	2 つのデュアルポート SAS HBA がホスト サーバーにインストールされており、各 HBA のシングル ポートが 1 つのフォールトドメインに接続されている場合、Data Collector および Unisphere Central に接続されている Storage Manager Client が、HBA の部分的な接続性ステータスを誤って表示することがあります。
DSM-42392	Storage Manager Data Collector	カスタム SSL 証明書を Data Collector にアップロードしようとすると失敗し、次のエラー メッセージが表示されます。  <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; border: 1px solid #ccc;">                     Certificates do not conform to algorithm constraints                 </div>
DSM-46304	Storage Manager Virtual Appliance	Unisphere Central の [ Data Collector ] ビューで、[ 一般 ] > [ サマリー ][ ] タブにある [ 詳細 ] 領域において、Storage Manager Virtual Appliance の [ 最大サーバー メモリー使用量 ] の設定が正しく表示されません。
DSM-45979	Storage Manager Virtual Appliance	Storage Manager Client が Storage Manager Virtual Appliance に接続されている場合、[ Data Collector 設定の編集 ] ダイアログ ボックスの [ 自動レポート ] タブに [ レポートをパブリック ディレクトリーに保存 ] オプションが表示されますが、このオプションは Storage Manager Virtual Appliance ではサポートされていません。
DSM-47220	Storage Replication Adapter ( SRA )	Data Collector が Storage Manager Virtual Appliance 上にある場合、Site Recovery Manager ( SRM ) のリカバリー計画は 1000 秒後にタイムアウトする可能性があります。
DSM-45610	Storage Replication Adapter ( SRA )	Storage Manager Data Collector が通常よりも多くのレプリケーションを管理している場合、トランザクションのロールバックに起因して、SRM 環境でのデバイス検出が失敗することがあります。
DSM-39971	Storage Replication Adapter ( SRA )	Data Collector が Storage Manager Virtual Appliance 上にある場合、SRM でテスト リカバリー ワークフローを実行すると失敗する可能性があります。
DSM-46797	Storage Manager Virtual Appliance	Storage Manager Virtual Appliance を Storage Manager 2018 R1 から Storage Manager 2020 R1 にアップデートすると、Storage Manager 2018 R1 を実行している仮想アプライアンスを表示する一時的なセッションが発生する場合があります。
DSM-47273	Unisphere	SC460 拡張エンクロージャのスロット 20 が、Unisphere および Unisphere Central で無効として表示されることがあります。
DSM-46862	Unisphere	SqlServer がデータベース タイプとして選択されていて、指定された FQDN または IP アドレスに「\」がある（これは、SQL データベース インスタンスを指定するために使用されます）と、Unisphere Central の [ データ ソースの変更 ] ウィザードに

表 4. Storage Manager 2020 R1 で修正された問題（続き）

問題	機能エリア	説明
		[You must enter a valid host or IP address] というエラーメッセージが表示されます。
DSM-46269	Unisphere	Unisphere Central の [ ユーザー設定の編集 ] ダイアログ ボックスの [ 管理イベント ] タブで選択されたイベントは、[ OK ] ボタンをクリックしても保存されない場合があります。
DSM-41788	Unisphere	[ しきい値定義の作成 ] ダイアログ ボックスの [ 日の制約 ] と [ 時間の制約 ] オプションが正常に機能しないことがあります。
DSM-41267	Unisphere	Unisphere Central で Storage Center が選択されている場合、[ 概要 ] タブに、お客様の通知のリスト以外の情報が表示されない場合があります。
DSM-40359	Unisphere	[ ディスク ] ビューでディスク フォルダーの [ 増加 ] タブに空き容量と予備容量の情報がありません。
DSM-39997	Unisphere	Unisphere の [ ハードウェア ] ビューの [ ディスク ] タブに [ ディスクの交換 ] ボタンが表示されません。
DSM-36115	Unisphere	Unisphere Central の [ モニタリング ] メニューの下にある [ パフォーマンス ] ビューで [ 履歴 ] ラジオ ボタンを選択し、[ 表示 ] ドロップダウン メニューで [ カスタム ] を選択すると、[ 開始時間 ] および [ 終了時間 ] フィールドに有効な時間が入力されていても [ アップデート ] ボタンが有効になりません。
DSM-28814	Unisphere	列の [ フィルター ] ダイアログ ボックスで、ストレージ サイズまたはネットワーク速度のフィールドに小数点が複数ある値を入力すると、値は正しく解析されず、フィルターは機能しません。
DSM-26784	Unisphere	グローバルな [ ボリューム ] ビューの列の [ フィルター ] ダイアログ ボックスで、[ %フル ] ドロップダウン メニューの [ 等しい ] オプションが機能しません。
DSM-35710	ユーザー管理	Storage Center は、手動で定義された LDAP サーバーとのディレクトリー サービス通信を制限しません。この問題により、Storage Center をディレクトリー環境に接続させるときに遅延が生じたり、認証のためにディレクトリー ユーザーおよびグループを Storage Center に追加できなかったりする場合があります。
SCOS-11192	ユーザー管理	Storage Center は、代替 DNS サフィックスを使用するように設定されたディレクトリー サービスユーザーを認証できません。

## 既知の問題

以下の重大度の高い問題は、このリリースでは解決されていません。

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
DSM-26371	クロスプラットフォーム レプリケーション	クロスプラットフォーム レプリケーションを 50% で一時停止した後で、PS グループ上でリードコントローラーを再起動すると、Storage Manager でクロスプラットフォーム レプリケーションの進行が 100% として誤って表示される場合があります。	レプリケーションを再開します。
DSM-20458	クロスプラットフォーム レプリケーション	Storage Manager では、レプリケーションに使用するポートをユーザーが削除できてしまいます。障害ドメインからのポートを削除すると、レプリケーションが分割されます。	ポートが削除された場合、テクニカルサポートにレプリケーションの再開を依頼してください。
DSM-19844	クロスプラットフォーム レプリケーション	クロスプラットフォーム レプリケーションが設定されていないと、PS グループに [ 容量設定の変更 ] オプションが表示されます。	なし

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題（続き）

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
DSM-19667	クロスプラットフォームレプリケーション	予定にないディザスターリカバリーのアクティブ化に対する復元ポイントは、即座に Storage Manager に表示されません。	[レプリケーション]ビューを更新するか、Storage Manager Client を再起動します。
DSM-17016	クロスプラットフォームレプリケーション	Storage Manager に PS グループから PS グループへのレプリケーションスケジュールが表示されても、Storage Manager は PS グループ間のレプリケーションを管理しません。	なし
DSM-16737	クロスプラットフォームレプリケーション	Storage Center でボリュームを作成するとき、Storage Manager で Storage Center から PS グループへのレプリケーションの設定ができません。	PS グループへのレプリケーションは、ボリュームの複製ウィザードで設定します。
DSM-15904	クロスプラットフォームレプリケーション	不十分な専用容量で Storage Center から PS グループへのレプリケーションを設定すると、Storage Manager に不適切なエラーが表示されます。	PS グループで、レプリケーションに十分な専用容量に変更します。
DSM-14648	クロスプラットフォームレプリケーション	PS グループから Storage Center へのレプリケーションでディザスターリカバリーを動作後、Storage Manager はサーバーへのボリュームマッピングを自動的に行いません。	サーバーに対するボリュームのマッピングは手動で行います。
88549	クロスプラットフォームレプリケーション	PS Series グループから Storage Center に 16 を超えるボリュームを複製すると、Storage Manager で待機中状態が [ダウン] と表示されます。	一度に 16 を超えるボリュームを複製しないでください。
DSM-28532	その他	異なる Storage Center 上のボリュームと同じ索引を持つボリュームのチャージバック部門を変更後、Storage Manager が、チャージバック部門で変更したボリュームを表示しないことがあります。また Storage Manager は、その他の Storage Center 上の同じ索引を持つボリュームのチャージバック部門を変更することもあります。	新規ボリュームに対してコピー/ミラー/移行を実行します。この問題は、新規ボリュームが別のシステム上の別のボリュームと索引を共有していない場合は生じません。
DSM-27414	その他	BMC インタフェース設定モードを静的から DHCP へ変更する際に、IP アドレスの静的モードのセットアップが維持されます。また、設定モードを DHCP から静的に変更して IPv4 アドレスのみ修正した場合、Storage Manager がネットマスクとゲートウェイ IP アドレスを無効な値に変更します。	設定モードを修正後、IP アドレスが正しいことを確認します。
DSM-16593	その他	SNMP を有効にせずに別の Storage Center に SNMP の設定を適用すると、メッセージを表示しないエラーが発生します。	設定を適用する前に Storage Center の SNMP を有効にします。
DSM-23693	PS Series グループの管理	Storage Manager で、PS Series グループでのコントローラのフェールオーバー後に、PS Series グループを非アクティブと表示します。	PS Series グループを Storage Manager から一度削除して、再度追加します。
DSM-13871	PS Series グループの管理	PS Series グループから Storage Center へ起動ボリュームのオンライン Thin Import を実行し、サーバーにマッピングすると、そのサーバーはそのボリュームから再起動できません。	オンラインの Thin Import は、起動ボリュームではサポートされません。
DSM-9294	レプリケーションと Live Volume	複数のレプリケーションまたは Live Volume を同時に作成するとき、設定エラーの修正やプロセスの再開によって、レプリケーション	作成操作で障害が発生した場合、設定エラーの修正にウィザードを使用して続行することはしないでください。その代わりに、ウィザードを終了して再起動し、障害点からレプリ

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題（続き）

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
		または Live Volume が重複して作成されることがあります。	クエッションまたは Live Volume の作成を再開します。
ENHTKR-90	レプリケーションと Live Volume	ボリュームをインポートしたとき、Storage Manager の LUN 番号に 0 を選択できません。	なし
DSM-30033	ストレージ管理	ホストに VMware Software の iSCSI アダプターではないアダプターが含まれている場合、VMware vSphere または vCenter ウィザードから [ サーバーの作成 ] を使用してサーバーを作成しようとすると、障害が発生します。	[ サーバーの作成 ] ダイアログ ボックスを使用して、サーバーを手動で作成します。
DSM-28354	ストレージ管理	Storage Manager が、サーバー ビューで Server Agent により監視されている一部の Hyper-V 仮想マシンのボリュームの情報を表示しないことがあります。	[ ストレージ ] ビューで、これらのボリュームの情報を表示します。
DSM-28295	ストレージ管理	Server Agent を再インストール後、Storage Manager を使用してサーバを登録すると、失敗することがあります。	Storage Manager Client でサーバーを登録します。
DSM-20038	ストレージ管理	Storage Center の初期設定で、Storage Center を検出して設定するウィザードが Storage Center のアップデート中に終了します。コントローラーの再起動が完了するまで、このウィザードは開けません。	コントローラーの電源が入るのを待ち、Storage Center に再接続してから、初期化されていない Storage Center を検出して設定するウィザードを起動します。
DSM-13200	ストレージ管理	スナップショット プロファイルがごみ箱を介さずに削除され、ボリュームに割り当てられたとき、更新するまで Storage Manager はスナップショット プロファイルを削除しません。	Storage Manager Client を更新します。
DSM-11762	ストレージ管理	Server Agent を使用してボリュームを作成する場合、Storage Center の別のボリュームにサポートされていない文字が含まれていると、ラベルに不正な文字が含まれていることを示す警告が Storage Manager に表示されることがあります。	サポートされていない文字をボリュームのラベルから削除します。
DSM-9428	ストレージ管理	vSphere または vCenter ウィザードのサーバーの作成を使用してサーバクラスタを作成すると、サーバクラスタの各ノードに対してサーバクラスタ Storage Center オブジェクトが作成されます。	なし
DSM-9390	ストレージ管理	ESXi または vSphere でホストされている VM に RDM を作成すると、ホストマップボリュームが、クラスタオブジェクトではなく、クラスタ内のサーバにマップされます。	手動でボリュームを ESXi server クラスターマッピングに昇格します。その後で vCenter Server 上のホストを再スキャンします。
DSM-47431	Storage Manager Client	[ 初期化されていない Storage Center の検出と設定 ] ウィザードは、Windows Server 2012 R2 にインストールされている Storage Manager Client の最初の起動画面でリンクをクリックして [ 初期化されていない Storage Center の検出と設定 ] を行おうとすると、開きません。 ① <b>メモ:</b> 最初の起動画面は、白い背景で表示されています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Storage Manager Client の 2 番目の起動画面で [ 初期化されていない Storage Center の検出と設定 ] リンクをクリックすることで、ウィザードを開きます。 ① <b>メモ:</b> 2 番目のログイン画面の背景は、黒い背景で表示されています。</li> <li>Storage Manager Client を Data Collector に接続した後、[ 初期化されていない Storage Center の検出と設定 ] リンクをクリックすることで、ウィザードを開きます。</li> </ul>

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題（続き）

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
DSM-47433	Storage Manager Client	Storage Manager Client が Data Collector に接続されていない場合、[ 初期化されていない Storage Center の検出と設定 ]ウィザードを使用して初期化されていない Storage Center の検出を行うと、管理者権限エラーメッセージが表示されることがあります。この問題は、管理者権限を持つユーザーとしてログインしている場合でも発生します。	Storage Manager Client を Data Collector に接続してから、[ 初期化されていない Storage Center の検出と設定 ]ウィザードを使用して初期化されていない Storage Center を検出します。
DSM-47392	Storage Manager Client	[ サーバーの作成 ]ダイアログ ボックス、[ サーバークラスターの作成 ]ダイアログ ボックス、[ Storage Center 設定の編集 ]ダイアログ ボックスの[ 環境設定 ]タブは、Storage Manager Client の Linux バージョンで正しく表示されない場合があります。	Unisphere Central を使用して、操作を実行します。
DSM-36674	Storage Manager Client	SCv3000 シリーズのストレージシステムに iSCSI I/O カードとメザニンカードの両方が含まれている場合、導入ウィザードでは、iSCSI I/O カードのケーブル配線図のみが表示されます。	なし
DSM-36577	Storage Manager Client	Storage Manager Client と Data Collector が異なるタイムゾーンにある場合、タイムスタンプが異なります。	Data Collector の UTC 設定にタイムゾーン値を設定しないでください。
DSM-36253	Storage Manager Client	サーバーを作成すると、[ オペレーティングシステム ]情報ダイアログ ボックスに、[ 最大バス数 ]が 32 または無制限ではなく 0 と表示されます。	なし
DSM-31931	Storage Manager Client	システムに複数のディスク フォルダーがある場合、[ サマリー ]タブの [ ストレージアラートしきい値 ]フィールドに、リストの最後のディスク フォルダーのデータが表示されます。	[ しきい値アラート ]ビューでしきい値データを表示します。
DSM-28859	Storage Manager Client	Windows リモート デスクトップ接続の [ 色深度 ]が [ 最高品質 ( 32 ビット ) ]に設定されている場合、Red Hat Linux Enterprise の Storage Manager Client の初期画面がブラックスクリーンになります。	Windows リモート デスクトップ接続の色深度を True Color ( 24 ビット ) または High Color ( 16 ビット ) に設定します。
DSM-26168	Storage Manager Client	ボリュームおよびボリューム フォルダーが選択されている場合、Storage Manager Client に削除オプションが表示されます。ただし、Storage Manager Client では、ボリュームとボリューム フォルダーの削除を 1 回の操作で実行することはできません。	ボリュームおよびボリューム フォルダーを別々に削除します。
DSM-14009	Storage Manager Client	Storage Manager Client を更新しても、Storage Center ノードの赤点インジケータがクリアされません。	Storage Manager Client を再起動します。
DSM-9577	Storage Manager Client	SCv2000 シリーズコントローラ用のフロントエンド SAS カードには、ESXi ホストに対する WWN 情報がありません。	ESXi ホストにインストールする前に、SAS WWN 情報を記録します。
DSM-9477	Storage Manager Client	Storage Manager Client は、再起動が完了していなくても、再起動が順次完了したとレポートすることがあります。	再起動の完了を確認してから次に進みます。
DSM-7908	Storage Manager Client	XML 形式でエクスポートされた I/O 使用状況レポートを Web ブラウザーで開くと、フランス語用の出力をすべて表示できません。	Notepad などのテキスト エディターを使用してレポートを開きます。

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題 ( 続き )

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
SCOS-12316	Storage Manager Client	Storage Manager Client に、マルチ VLAN タグをサポートしない I/O カード用のマルチ VLAN タグ オプションが表示されます。	マルチ VLAN タグをサポートしない QLogic カードではマルチ VLAN タグを有効にしないでください。
DSM-41119	Storage Manager Data Collector	Data Collector が内部フラット ファイル データベースを使用し、複数のディスク フォルダがある Storage Center を管理する場合、データベース エラーが発生する可能性があります。	Data Collector の内部フラット ファイル データベースの代わりに外部データベースを使用します。 <b>△注意: 内部フラット ファイル データベースは、本番環境の Data Collector には推奨されていません。</b>
DSM-37868	Storage Manager Data Collector	パスワードが期限切れになっている Storage Center が Data Collector から切断された場合、Storage Center は Data Collector に再接続することはできません。	Storage Manager Client または Unisphere を使用して Storage Center に直接接続して、Storage Center のパスワードを変更します。
DSM-42715	Storage Replication Adapter ( SRA )	2 つの別々のボリュームが、異なるホストにマッピングされた同じ LUN 番号を使用し、その 2 つがレプリケーション用に設定されている場合、SRM は次のエラー メッセージを生成します：  <pre>Duplicate LUN 'X' for initiatorGroup</pre>	なし
DSM-43060	Storage Replication Adapter ( SRA )	リカバリーまたは再保護操作が実行されると、Site Recovery Manager ( SRM ) で次のエラー メッセージが生成される場合があります。  <pre>Unable to switch the site preference to the recovery site for the device. SRA command 'prepareFailover' failed for device.</pre>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リモート Data Collector を停止します。</li> <li>2. プライマリ Data Collector を再起動します。</li> <li>3. リモート Data Collector を起動します。</li> </ol>
DSM-28137	Storage Replication Adapter ( SRA )	vMotion が環境で有効になっていない場合に、Live Volumes での SRM 計画済みフェールオーバーが失敗します。	vMotion を有効にします。拡張ストレージおよび Live Volume を使用する Storage Replication Adapter ( SRA ) では、vMotion が必要です。
DSM-18751	Storage Replication Adapter ( SRA )	Storage Replication Adapter ( SRA ) のインストール ウィザードで、SRA の古いバージョンからアップデートを開始することはできません。SRA の前のバージョンからのアップデートはサポートされません。	以前のバージョンの Storage Replication Adapter ( SRA ) をアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールします。
DSM-47422	SupportAssist と アップデート	Storage Manager Data Collector 2020 R1 の新規インストールでは、プロキシ サーバーが SupportAssist 用に設定されている場合、「指定されたプロキシ設定を使用して外部の Web サイトに接続できません」というエラーが発生する可能性があります。	Storage Manager Data Collector 2020 R1 をアンインストールし、Storage Manager Data Collector 2019 R1 をインストールしてプロキシ サーバーを設定してから、Storage Manager Data Collector 2020 R1 にアップデートします。
DSM-36088	SupportAssist と アップデート	Data Collector から Storage Center に対して、サービスに影響しないアップデートを開始すると、Storage Manager での Storage Center との接続が失われる場合があります。	接続の問題は、システムにより自動的に解決されます。
DSM-45590	Unisphere	Unisphere Central の [ パフォーマンス ] タブでのグラフ表示に問題が発生する場合があります。	Data Collector に接続されている Storage Manager Client を使用して [ パフォーマンス ] グラフを表示します。

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題（続き）

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
DSM-42195	Unisphere	複数の Storage Center のために監視データを PDF にエクスポートする場合、エクスポートが完了するまで、Unisphere Central が応答しなくなる可能性があります。	Data Collector に接続されている Storage Manager Client を使用して、監視データを PDF にエクスポートします。
DSM-39691	Unisphere	Storage Center の初期セットアップと設定の実行中に、Unisphere Web インターフェイスに次のエラー メッセージが表示されることがあります。  The connection to the server has been lost	ブラウザを更新して Unisphere Web ページを再ロードし、Storage Center の初期セットアップと設定を続行します。
DSM-38756	Unisphere	Storage Center に 50 台を超える拡張エンクロージャがあると、Unisphere ハードウェアビューにサーバエラーが表示されます。	大規模システムのハードウェア情報を表示する場合は、Storage Manager Client を使用してください。
DSM-36355	Unisphere	多くの拡張エンクロージャが搭載されているストレージシステムで、Unisphere の一部のビューのロードに失敗し、エラー メッセージが表示されることがあります。	Storage Manager Client を使用して、多数の拡張エンクロージャが搭載されているストレージシステムの情報を表示します。
DSM-36253	Unisphere	サーバーを作成すると、[オペレーティングシステム] 情報ダイアログ ボックスに、[最大パス数] が 32 または無制限ではなく 0 と表示されます。	なし
DSM-35454	Unisphere	128 個を超えるオブジェクトに適用されている操作を実行すると、失敗する場合があります。	なし
DSM-34120	Unisphere	使用可能なディスクがあるホットスペアシステムに空のディスクフォルダを作成できません。	なし
DSM-33384	Unisphere	Internet Explorer を使用して多数の LDAP ユーザーを表示すると、ユーザー インターフェイスが応答しなくなる場合があります。	Chrome、Firefox など他の Web ブラウザーを使用してください。
DSM-32169	Unisphere	Internet Explorer を使用すると、[パフォーマンス] ビューが表示されない場合があります。	Chrome、Firefox など他の Web ブラウザーを使用してください。
DSM-16373	Unisphere	Unisphere Central に、Data Collector データソース変更の進捗状況が表示されません。	Storage Manager Client を使用して、Data Collector のデータ ソースを変更します。
DSM-35011	ユーザー管理	Storage Manager または Unisphere を使用して、Storage Center の OpenLDAP ディレクトリー サーバーを設定することはできません。	なし
DSM-24536	ユーザー管理	ユーザー設定およびユーザー グループ設定で「<」記号または「>」記号を使用すると、エラーが発生する可能性があります。	ユーザー設定およびユーザー グループ設定では、これらの文字を使用しないでください。
DSM-15445	ユーザー管理	識別名 (DN) を使用する場合、Storage Manager を Active Directory に追加できません。	ユーザー プリンシパル名 (UPN) を使用して Storage Manager を Active Directory のレルムに追加します。
DSM-12329	ユーザー管理	ユーザーのロックが解除されても、ユーザーのステータスがすぐに変更されない場合があります。	Storage Manager Client を更新します。
DSM-44104	VMware	1 つの VVol データストアから別の VVol データストアに仮想マシンを頻繁に移行すると、孤立したボリュームが発生する場合があります。	なし

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題（続き）

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
DSM-16656	VMware	Dell Storage Manager で vCenter Server を初めて登録するとき、[ Storage Center の仮想マシンを自動管理 ] オプションを選択すると、検出されたすべての ESXi ホストとその VM がストレージ パネルの [ サーバー ] ツリーでレンダリングされます。これらの VM のいずれかが後で vCenter から削除されても、Dell Storage Manager ビューに表示され続けます。	これらの削除された VM を Dell Storage Manager から削除するには、VM を右クリックして削除します。
DSM-16248	VMware	まれに、Dell Storage Manager の [ サーバー ] ビューで [ 情報のアップデート ] を選択すると、[ java.net.SocketException: Unexpected end of file from server ] というエラーが表示されることがあります。	vCenter に現在オンライン状態で接続の受け入れ可能と表示されていても、Dell Storage Manager と vCenter との間に適切な接続を再確立するためには、vCenter を再起動する必要があります。
DSM-15879	VMware	VMware のホスト セットアップ ウィザードでは、VMware Software の iSCSI アダプターではないアダプターがある ESXi ホストで HBA を選択できません。Dell Storage Manager と VMware との統合環境を確立すると、VMware の既知のインベントリーを Dell Storage Manager にインポートするオプションを複数利用できるため、管理上の利点が高まります。ホストは個別に追加するか、vCenter Server から作成して登録するかを選択できます。	[ ストレージ ] タブで vCenter Server から作成するオプションを使用することもできますが、より信頼性の高い Dell Storage Manager の [ サーバー ] タブの使用を推奨しています。[ サーバー ] フォルダーを選択してから [ サーバーの登録 ] > [ VMware vCenter Server の追加 ] の順に選択します。次に [ Storage Center の自動管理 ] を選択すると、Storage Center が入力されます。
DSM-15803	VMware	まれに、特定の VVol データストアから別の場所に VVol VM を移行すると、元のデータストアの config またはデータ VVol が孤立することがあります。この VVol は合計 VVol の測定の邪魔になり、不要な領域を占有します。	テクニカルサポートに VM の削除を依頼してください。
DSM-15302	VMware	Storage Manager Client で入力された（空白ではない）データストアを削除しようとする時、エラーが発生します。接続エラーは、vCenter Server に赤色の X で表示されます。	トップレベル メニューの [ 情報のアップデート ] ボタンをクリックします。
DSM-15000	VMware	静止ゲスト ファイル システムの VVol VM スナップショットに失敗します。	VSS 機能なしで VMware Tools をインストールします。詳細については、VMware ナレッジベース記事番号 2069952 を参照してください。
DSM-14997	VMware	sDRS を VVol と使用すると、両方の VVol が同じ Storage Center 上にある場合、vCenter が誤って VM の移行を推奨します。	操作を実行する前に、vCenter からの推奨事項を確認してください。
DSM-14891	VMware	高速クローン VM に作成した VM の履歴が表示されます。そのため、このクローン VM のデータ VVol は、元の VM のデータ VVol の設定を継承します。この履歴の共有には以下の影響があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ストレージ コンテナのデータ削減プロファイルを変更すると、その後に生成される高速クローン VM の config およびデータ VVol で、データ削減のプロファイルが一致しなくなります。</li> <li>ユーザーが元の VM に対して VM ストレージ ポリシー適用すると、高速クローン VM のデータ VVol に同じ変更が適用されます。その逆もあります。</li> </ul>	なし

表 5. Storage Manager 2020 R1 における既知の問題（続き）

問題	機能エリア	説明	回避策/解決策
DSM-14806	VMware	VM をホストする VVol データストアに十分な容量がない場合、スナップショットを持つ仮想マシンで移行またはクローン処理を行うと操作に失敗することがあります。これらの操作に必要な一時スペースのオーバーヘッドは、各ディスクのサイズおよび VM のスナップショット数に左右されます。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. VVol データストア（ストレージ コンテナ）の容量がいっぱいかどうかを確認します。</li> <li>2. VVol データストアのサイズを増加させてオーバーヘッドに対応してから、操作をやり直します。</li> </ol>
DSM-14570	VMware	レポーター権限を持つ DSM ユーザーで VASA Provider を登録しようとすると、予想どおり失敗します。ただし、「Username or password is incorrect」という誤ったエラーメッセージが報告されます。正しいエラーメッセージは、「user with Reporter privilege is not allowed to register VASA provider」です。	エラーメッセージを無視し、管理者権限を持つ Storage Manager Data Collector ユーザーで VASA Provider を登録します。
DSM-14149	VMware	VM の Storage vMotion の進行中に、新しい VM ストレージ ポリシーを適用しようとすると、VM のコンプライアンス状態が Out of Date になります。	Storage vMotion が完了してから、新しいストレージ ポリシーを適用します。
DSM-13316	VMware	Dell Storage Manager でストレージコンテナのサイズを増やすと、vCenter ユーザーインタフェースに新しいサイズのデータストアが表示されますが、VM を作成しようとしたときに容量不足のエラーが表示されます。	データストアのマウントを外してから、再度マウントします。
DSM-13042	VMware	まれな状況で、最後に VVol を削除することになるスクリプトを使用した VVol 操作（クローニングおよびスナップショット）が複数の VM で同時に発生している場合、VVol VM を削除しようとしても VVol を削除できない場合があります。このシナリオは、非効率的な容量の消費および将来使用可能な VVol 全体が縮小されることにつながります。	VVol の削除は、ユーザー レベルで対応できる修正オプションではありません。テクニカルサポートまでお問い合わせください。スクリプトを使用して同時に VVol 操作を実行することは避けてください。代わりに、スクリプトを連続して操作するか、間隔をあけて操作してください。
DSM-12732	VMware	ストレージ コンテナを作成した後、VVol データストアで使用することができます。その論理サイズはストレージ アレイの物理容量を超えています。vCenter に表示される超過しているコンテナの容量値は、ストレージ コンテナの論理値ではなく、アレイの実際の空き容量または合計物理容量値を反映しています。	なし
DSM-11417	VMware	高可用性（HA）が設定されているとき、アクティブホストへの管理ネットワーク アクセスが失われると、VVol はアクティブなホストからスタンバイ ホストに移行されません。この状況は、VMFS と似ています。またこれは異常ではありません。ただし、データネットワークのみがダウンした場合、VMFS データストアはスタンバイ ホストに移行され、VVol はフェールオーバーしません。VMCP は現在、VVol をサポートしていません。	データ ネットワークがダウンしても管理ネットワークが起動状態のままの場合の対策はありません。ただし、アクティブ ホストにつながる管理ネットワークがダウンした場合は、データ ネットワークの状態に関係なく、フェールオーバーがトリガされます。

## 制限

このリリースでは、次の制限があります。

表 6. Storage Manager 2020 R1 の制限

制限	説明
SRM 8.2 および 8.3 の Live Volume の計画されたフェールオーバー	<p>Live Volume の計画されたフェールオーバー時に、SRM 8.2 と 8.3 が Dell Storage Replication Adapter ( SRA ) に ReverseReplication コマンドを送信できません。この問題を解決するには、両方のサイトで SRM 8.2 または 8.3 を実行しているサーバーで、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SRM を実行しているサーバーで、vmware-dr.xml ファイルをテキスト エディターで開きます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows での vmware-dr.xml ファイルのデフォルトの場所は C:\Program Files\VMware\VMware vCenter Site Recovery Manager\config\vmware-dr.xml です。</li> <li>Photon ベースの SRM での vmware-dr.xml ファイルのデフォルトの場所は /opt/vmware/srm/conf/vmware-dr.xml です。</li> </ul> </li> <li>ファイル内で、XML タグ &lt;storage&gt; を検索します。</li> <li>XML タグ &lt;storage&gt; &lt;/storage&gt; の間に、次のエントリーを追加します。 <pre>&lt;forcePrepareAndReverseReplicationForNoopDevices&gt;true&lt;/forcePrepareAndReverseReplicationForNoopDevices&gt;</pre> </li> <li>vmware-dr.xml ファイルに対する変更を保存します。</li> <li>両方のサイトで、サーバーで SRM サービスを再起動します。</li> </ol>
Storage Manager の拡張性	<p>パフォーマンスを最適化し、接続の問題を防止するために、Dell EMC では 1 つの Data Collector で管理する Storage Center は 10 以下にすることを推奨しています。Data Collector は、ネットワークの遅延、I/O 負荷、およびボリュームの数によってこの推奨制限を超える場合があります。</p>
Unisphere Central の機能	<p>次の機能は、Unisphere Central では使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャージバック</li> <li>FluidFS 管理</li> <li>PS Series グループの管理</li> </ul>

## 環境要件とシステム要件

このセクションでは、このリリースの環境要件とシステム要件について説明します。

次の表は、Storage Manager と互換性のある製品をリストした表です。

表 7. Storage Manager の互換性

製品	バージョン
Storage Center	7.2 ~ 7.5
PS Series グループファームウェア	9.0 ~ 10.0
Dell FluidFS	6.0.400016
Microsoft System Center Virtual Machine Manager ( SCVMM )	2012、2012 SP1、2012 R2、2016、2019
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 用の VMware Site Recovery Manager (SRM)</li> <li>VMware Photon ベース SRM</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8.1、8.1.1、8.2、および 8.3</li> <li>8.2、8.3、8.4、および 8.5</li> </ul> <p>現在、SRM 8.4 は Storage Center の拡張ストレージをサポートしていませんが、SRM 8.5 は拡張ストレージをサポートしています。</p> <p>SRM でサポートされているアップグレードパスを表示するには、<a href="https://interopmatrix.vmware.com/Upgrade">https://interopmatrix.vmware.com/Upgrade</a> から VMware Site Recovery Manager を選択します。</p> <p>SRM 8.5 にアップグレードする場合、ストレージ ポリシー保護グループをデータストア保護グループに移行する必要があります。詳細については、Dell ナレッジベース記事 <a href="https://www.dell.com/support/kbdoc/000202315">https://www.dell.com/support/kbdoc/000202315</a> を参照してください。</p>

## 表 7. Storage Manager の互換性 ( 続き )

製品	バージョン
	<b>i</b> <b>メモ:</b> Storage Center には、SRM を使用するための Fibre Channel または iSCSI フロントエンド ポートが必要です。
Windows 用の Dell Storage Replication Adapter ( SRA )	18.1.1.173
Dell SRA、Photon ベース SRM 用	20.1.1.13
DSITV および DSVCP	6.0

次の表は、Storage Manager Client の要件をリストした表です。

## 表 8. Storage Manager Client の要件

コンポーネント	要件
オペレーティングシステム	次の 64 ビットオペレーティングシステムのいずれか <ul style="list-style-type: none"> <li>● Windows 8.1</li> <li>● Windows 10</li> <li>● Windows Server 2012 R2</li> <li>● Windows Server 2016</li> <li>● Windows Server 2019</li> <li>● SUSE Linux Enterprise 12</li> <li>● SUSE Linux Enterprise 15</li> <li>● Red Hat Enterprise Linux 7.5</li> <li>● Red Hat Enterprise Linux 7.6</li> <li>● Red Hat Enterprise Linux 8.0</li> <li>● Oracle Linux 7.0</li> <li>● Oracle Linux 7.3</li> <li>● Oracle Linux 7.6</li> </ul> <b>i</b> <b>メモ:</b> Windows Server Core はサポートされません。
CPU	2 個以上のコアを搭載した 64 ビット ( x64 ) マイクロプロセッサ
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 4.5 以降 ( Windows のみ )
Linux VM クライアント アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● VMware vSphere Client</li> <li>● Hyper-V マネージャ</li> </ul>
Web ブラウザ	次の Web ブラウザのいずれか <ul style="list-style-type: none"> <li>● Google Chrome</li> <li>● Microsoft Edge</li> <li>● Mozilla Firefox</li> </ul> <b>i</b> <b>メモ:</b> Google Chrome が推奨ブラウザです。その他の Web ブラウザは動作する可能性はありますが、公式にはサポートされていません。

次の表は、Storage Manager Data Collector の要件をリストした表です。

**i** **メモ:** 最良の結果を得るには、共有ストレージの従来のボリュームを使用した Windows Server VM に Data Collector をインストールしてください。Data Collector をインストールする Windows Server VM には、vVol を使用しないでください。

## 表 9. Storage Manager Data Collector の要件

コンポーネント	要件
オペレーティングシステム	最新のサービスパックを搭載した次の 64 ビットオペレーティングシステムのいずれか <ul style="list-style-type: none"> <li>● Windows Server 2012 R2</li> <li>● Windows Server 2016</li> <li>● Windows Server 2019</li> </ul> <b>i</b> <b>メモ:</b> Windows Server Core はサポートされません。

表 9. Storage Manager Data Collector の要件 ( 続き )

コンポーネント	要件
Windows ユーザーグループ	管理者
CPU	2 個以上のコアを搭載した 64 ビット ( x64 ) マイクロプロセッサ <b>メモ:</b> 100,000 以上の Active Directory メンバーまたはグループで構成されている環境の場合、Data Collector には 4 コア マイクロプロセッサが必要になります。
メモリ	次のストレージ環境のサイズに基づいて変わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4 GB : 1~10 台の Storage Center、または最大 3000 の合計ボリューム</li> <li>8 GB : 11 台以上の Storage Center または最大 6000 の合計ボリューム</li> <li>16 GB : 11 台以上の Storage Center または最大 12,000 の合計ボリューム</li> <li>32 GB : 11 台以上の Storage Center または 12,000 を超える合計ボリューム</li> </ul>
ディスク容量	20 GB 以上、FluidFS クラスタ ソフトウェア アップデートを管理する場合は追加容量が必要。 <b>メモ:</b> 組み込みデータベースを使用するには、ファイル システムにデータベースを格納するため追加で 64 GB が必要です。ただし、組み込みデータベースの使用は本番環境では推奨されません。
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 4.5 以降のフル インストール
Web ブラウザ	次の Web ブラウザのいずれか <ul style="list-style-type: none"> <li>Google Chrome</li> <li>Microsoft Edge</li> <li>Mozilla Firefox</li> </ul> <b>メモ:</b> Google Chrome が推奨ブラウザです。その他の Web ブラウザは動作する可能性はありますが、公式にはサポートされていません。
外部データベース	次のデータベースのうちのいずれか 1 つ : <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft SQL Server 2016</li> <li>Microsoft SQL Server 2016 Express ( 10 GB に制限 )</li> <li>Microsoft SQL Server 2017</li> <li>Microsoft SQL Server 2017 Express ( 10 GB に制限 )</li> <li>Microsoft SQL Server 2019</li> <li>Microsoft SQL Server 2019 Express ( 10 GB に制限 )</li> <li>MySQL 5.7</li> <li>MySQL 8.0</li> </ul> <b>メモ:</b> ファイル システムに保存された組み込み型のデータベースを外部データベースの代わりに使用できます。ただし、組み込み型のデータベースは 64GB に制限され、過去 30 日間のデータのみが保存されます。組み込み型のデータベースは、本番環境には推奨されません。

表 10. Storage Manager Virtual Appliance の要件

コンポーネント	要件
VMware ESXi ホストのバージョン	6.5、6.7、7.0 のいずれか
VMware vCenter Server のバージョン	6.5、6.7、7.0 のいずれか
データストアサイズ	55 GB
CPU	2 個以上のコアを搭載した 64 ビット ( x64 ) マイクロプロセッサ <b>メモ:</b> 100,000 以上の Active Directory メンバーまたはグループで構成されている環境の場合、Data Collector には 4 コア マイクロプロセッサが必要になります。
メモリ	次のストレージ環境のサイズに基づいて変わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4 GB : 1~10 台の Storage Center、または最大 3000 の合計ボリューム</li> <li>8 GB : 11 台以上の Storage Center または最大 6000 の合計ボリューム</li> </ul>

## 表 10. Storage Manager Virtual Appliance の要件 ( 続き )

コンポーネント	要件
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 16 GB : 11 台以上の Storage Center または最大 12,000 の合計ボリューム</li><li>● 32 GB : 11 台以上の Storage Center または 12,000 を超える合計ボリューム</li></ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>● VMware vCenter Server</li><li>● VMware vSphere の高可用性</li></ul>

次の表は、Storage Manager Server Agent の要件をリストした表です。

## 表 11. Storage Manager Server Agent の要件

コンポーネント	要件
オペレーティングシステム	最新のサービスパックを搭載した次の 64 ビットオペレーティングシステムのいずれか <ul style="list-style-type: none"><li>● Windows Server 2012 R2 ( フルまたはコアインストール )</li><li>● Windows Server 2016</li><li>● Windows Server 2019</li></ul>
CPU	64 ビット ( x64 ) マイクロプロセッサ
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 4.5 Full

# インストールおよびアップグレードの考慮事項


Storage Manager 2020 R1 のインストール、または Storage Manager 2020 R1 へのアップグレードについては、<https://www.dell.com/support> にある『Storage Manager 2020 R1 インストールガイド』を参照してください。


## 問い合わせ先


Dell Technologies サポート サイト ( <https://www.dell.com/support> ) には、ドライバー、インストールパッケージ、製品ドキュメント、ナレッジ ベース記事、アドバイザリーなど、製品とサービスに関する重要な情報が含まれています。

特定の Dell Technologies 製品またはサービスに関して利用可能なすべての情報にアクセスするには、有効なサポート契約とアカウントが必要です。

## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータ ロスの可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。